



2018年10月22日

プレスリリース

欧州連合の支援による、3年間のイタリア食肉加工品のプロモーションがスタート 本物のイタリアの DOP、IGP 食肉加工品 日本での市場拡大狙う

DOP（原産地名称保護）と IGP（地理的表示保護）に認定された、イタリアを代表する食肉加工品のプロモーション機関であるモルタデッラ・ボローニャ組合(主導機関)、カッチャトーレ・イタリアーノ組合および、ザンポーネ・モデナとコテキーノ・モデナ IGP 組合の3組合はこのたび集結し、欧州連合の支援のもと、日本市場をターゲットとした3年間の新しいプロジェクト Arigat-EU（アリガテウ、本物のヨーロッパのデリ肉）を、2018年9月よりスタートしました。

キャンペーンの主な目的は、日本市場における DOP と IGP の食肉加工品の優れた価値を広めることです。日本における豚肉の消費の歴史は浅く、食肉加工品の市場普及はここ30年ほどですが、現在日本市場は、豚肉消費量において世界で第6位を占めており、イタリアからも多くの量が輸入されています。2016年の統計によると、イタリアからの食肉加工品の輸入は、輸入量においては20.1%増加で総量は4千トン以上、輸入総額においては約4千万ユーロで15.4%の増加を記録しています。

3つの組合は、それぞれ呼称付きのイタリアの食肉加工品の品質の保護、プロモーションに関わっており、ともに**食肉加工品の市場における価値向上、ヨーロッパの高品質なブランドの知識と認識のレベルを高め、**食品安全、トレーサビリティ、伝統、信憑性、栄養・健康面、サステナビリティにおける**これらの食品の価値について、消費者の認識を高める**ことを提案します。

このプロジェクトを通して、欧州連合以外の諸国での**欧州連合の農畜産物のイメージ向上**、とりわけ日本市場においては、類似品ではない本物の**欧州連合の品質保証制度の認知の強化**に努めます。



本物の
ヨーロッパの
デリ肉



これらの目的の達成のため、3年間にわたり大きく**3つのターゲット**を定め、様々な活動を展開します。

第一のターゲットは、**レストラン**（食品サービス業界）です。3年間で、人口密集地域である関東地方（とりわけ東京と横浜）と関西地方（大阪、神戸、京都）の600軒のレストランを対象に実施します。初年度は、東京のタイプの異なるレストラン（高級レストラン、ミシュラン星付き、イタリアン、フュージョン、無国籍料理等）に焦点を絞ります。ヨーロッパの食品を使った年間ワークショップの実施、プロジェクトの食材を使用したレシピ開発、ビデオレシピブックを制作し、それらを実際にレストランのメニューとして採用してもらおう等、様々に展開します。最新のテクノロジーを利用した新鮮で魅力あふれるレシピビデオでは、ヨーロッパの食材と和食のアートの意表を突くコンビネーションに出会えます。レシピは、11月上旬アップ予定のキャンペーンのウェブサイトでご覧いただけます。

www.arigat.eu

11月6日には、このプロジェクトの第二のターゲットとなる**ジャーナリストやフードブロガー**を招いて、東京でガラディナーが開催され、プロジェクトの紹介、パートナー製品の公式プレゼンテーションを実施します。**東京のシャングリラ・ホテル**のシェフによるオリジナルで手の込んだレシピからなるミシュランの星付きセブなメニューは、メディアの注目の的になるに違いありません。

毎年、ターゲットを定めたイベント、プレスリレーション活動、プレスツアー、キャンペーン商品の入ったスペシャルギフトボックスなどを企画しており、それらはジャーナリストとインフルエンサーの注目を集めることでしょう。

第三の、最も重要なターゲットは**一般消費者**で、東京都心部でポークを好んで食べる、特にミレニアル世代、東京の通勤者、日本人旅行者を対象とします。

一般消費者向けには、レストランでの試食ウィークを企画しています。そこでは、製品の栄養価を考慮してつくられた特別なレシピを楽しむことができます。また、セレクトされた50軒のレストランで、キ



本物の
ヨーロッパの
デリ肉



キャンペーン商品を使ったデリ・弁当ボックスも企画しています。さらに、プロジェクトのビジュアル性を更に高めるために、様々なプログラムを企画しています。人々が集まるエリア(空港、駅 等) の大



本物の
ヨーロッパの
デリ肉



きなビルボードで“ビジュアルディスプレイ”キャンペーンの実施、日本航空の機内誌“スカイワード”や専門業界紙に記事を掲載、オンライン・プロモーション、業界のインフルエンサーによるプロダクト・プレイスメント等を実施します。

モルタデッラ・ボローニャ組合について

2001年に設立されたモルタデッラ・ボローニャ組合は、モルタデッラ・ボローニャ IGP の保護、プロモーションが目的です。イミテーションや規定にそぐわない行為を阻止する活動を行っています。現在モルタデッラ・ボローニャ組合には27社が参加しており、その全社でモルタデッラ・ボローニャ IGP の95%を生産しています。

カッチャトーレ・イタリアーノ組合について

2005年から、カッチャトーレ・イタリアーノ組合は、サラミーニ・イタリアーニ・アツラ・カッチャトーラ DOPの情報、保護、プロモーションに携わっています。監視機能だけではなく、イタリア国内および国外での違法行為、イミテーション、規定にそぐわない行為を阻止する役目を果たしています。

ザンポーネ・モデナとコテキーノ・モデナ IGP 組合について ザンポーネ・モデナとコテキーノ・モデナ IGP 組合は2001年に設立され、コテキーノ・モデナ IGP と ザンポーネ・モデナ IGP の保護、プロモーションが目的です。組合はこの2つの食肉加工品の大半を生産している14社から成り立っています。

